

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語総合Ⅱ (0300)		
科目基礎情報								
科目番号	4M20			科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	産業システム工学科機械システムデザインコース			対象学年	4			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	『新版論文の教室』『理科系の作文技術』および志望校の過去問							
担当教員	齋 麻子,海野 かおり							
到達目標								
それぞれの志望する企業が求めるニーズにあった文章表現ができること。 または、志望校が求めるニーズにあった文章表現ができること。 単位取得に関しては、毎授業において、合評、手直し、添削を行うこと。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	志望する企業や大学が求めるニーズにあった文章表現が主体的にできる。			志望する企業や大学が求めるニーズにあった文章表現ができる。		志望する企業や大学が求めるニーズにあった文章表現ができない。		
評価項目2	毎授業において、受講者相互が合評、手直し、添削を行うことが主体的にできる。			毎授業において、受講者相互が合評、手直し、添削を行うことができる。		毎授業において、受講者相互が合評、手直し、添削を行うことができない。		
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
ディプロマポリシー DP1								
教育方法等								
概要	【開講学期】秋学期 就職試験におけるエントリーシートや小論文対策および、大学編入学の小論文対策としての文章力向上を目指します。							
授業の進め方・方法	受講者自身が受験予定の企業のエントリーシートや小論文の過去問を課題とします。大学編入学希望の学生は、受験予定の大学の小論文の過去問を課題とします。書いたものをもとに、学生同士で合評、添削、直しなどを行いながら、完成を目指します。							
注意点	受講者自身が課題を持参すること。能動的に積極的に取り組むこと。単位取得を目指す場合は、毎回の授業において、合評、手直し、教員による添削を行うこと。企業・大学によって、求められる内容が違います。よく調べて資料を入手しましょう。							
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス(受講のルール) 志望する企業・志望大学の情報収集			授業概要を把握できる 自らの希望する進路の情報を収集できる		
		2週	志望する企業・志望大学の情報収集			自らの希望する進路の情報を収集できる		
		3週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		4週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		5週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		6週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		7週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
	4thQ	8週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		9週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		10週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		11週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		12週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		13週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		14週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
		15週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見できる		
16週	合評会→小論文手直し→添削指導→小論文手直し			小論文を合評し、直すべきところを発見して完成できる				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	課題提出等						合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	